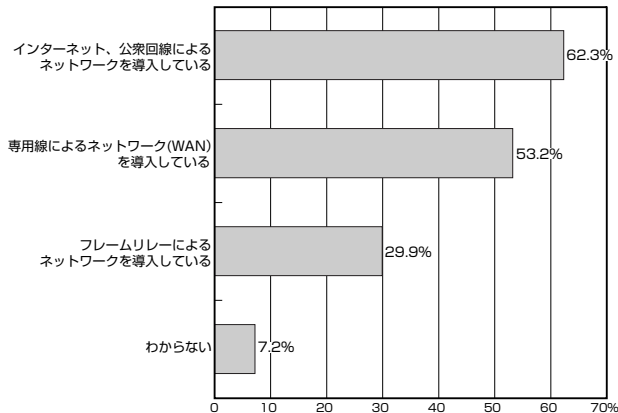


第4章 企業

ネットワーク構築状況

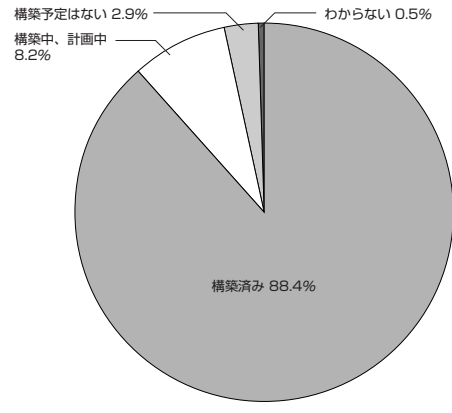
大企業への普及は100%

資料1-4-1 社内ネットワーク構築の有無 N=1603



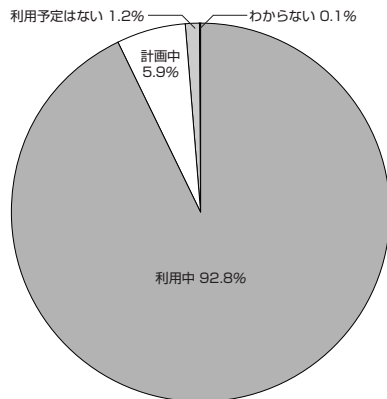
インターネット白書2000 ©インプレス、Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-2 社内LAN構築の有無 N=1603



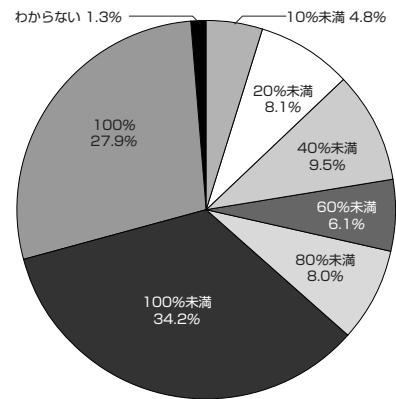
インターネット白書2000 ©インプレス、Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-3 インターネット技術の利用有無 N=1603



インターネット白書2000 ©インプレス、Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-4 インターネットが利用可能なハードウェアの比率 N=1487



インターネット白書2000 ©インプレス、Access Media International&IAJ, 2000

解説

今年の「企業のインターネット利用実態調査」では4500のコンピュータ利用事業所に対して質問票を郵送し、1603サンプルの有効回答を得ている。

有効回答企業のネットワーク構築状況（資料1-4-1）は今年初めて掲載するが、「インターネット、公衆回線によるネットワークを導入している」のは全体の62.3%に上る。これを従業員規模別にみると、50人未満の事業所で「インターネット、公衆回線によるネットワークを導入している」比率が7割以上と高い一方、「専用線によるネットワークを導入している」は従業員500～999人以上の企業から5割を超えてきており、5000人以上の企業ではその比率が9割を超える。

また、社内LANの構築状況については回答企業全体で88.4%であった（資料1-4-2）。ここでも1000人以上の企業では95%を

超える高い利用率である。

インターネット技術の利用について、去年は82.5%だったが今年さらに増加し、9割を超えている（資料1-4-3）。コンピュータ導入企業という母集団に対する調査結果ではあるが、着実にインターネットの企業における普及が進んだといえる。特に5000人以上の規模におけるインターネット技術の利用は100.0%であった。

社内でインターネットが利用可能なハードウェアの比率についても去年の平均41.1%から71.0%と飛躍的に増加しており、インターネット利用が企業内で徐々に一般化している状況がわかる（資料1-4-4）。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp